

CONTENTS

- 2,3... 特集 末梢血幹細胞移植のいま
- 4... つらくても春は必ずやって来る ~4歳で白血病と闘った少女の物語~
- 5... なんでも骨髄バンクQ&A
- 6... 日本骨髄バンクの現状 / トピックス
- 7... 登録内容変更のお願い / コーディネーターお仕事紹介&インタビュー
- 8... コーディネーター募集 / プレゼント / 募金のお願い

■日本骨髄バンクの現状 ※2013年10月末現在



「LIVE FOR LIFEの活動は、本田美奈子.のオモイ」

平成25年11月3日、COREDO室町 日本橋三井ホールにおいて、
 本田美奈子.さん*の追悼メモリアルコンサートであるLIVE FOR LIFE『音楽彩』が行われ、
 出演アーティストの方々が彼女を偲び、素晴らしい歌声を披露されました。
 出演者の早見優さん、坂本冬美さん、松本伊代さんよりコメントを頂戴いたしました。



早見優さん 坂本冬美さん 松本伊代さん (11月3日写真撮影)

美奈子ちゃんはいつも私たちの傍にいてくれる。月日が経つほど、この想いは強くなっていきます。美奈子ちゃんが残してくれた大切な想いを、一緒に共有できることを幸せに思っています。白血病などの病気と闘っている患者さんやそのご家族の方々をはげまし、少しでも多くの人に「骨髄バンク」を知っていただきたい。これからも骨髄バンクを支援していきたいと思えます。

“LIVE FOR LIFE”は、生前の本田美奈子.の「想い」から生まれた活動です。彼女は闘病中、たくさんの人達から励まされ、今まで感じていた愛よりも、もっと深い愛を感じるようになりました。「生きるって素晴らしいな」と心の底から思うようになりました。

そして、この病を克服して再びステージに立って歌えば、同じ苦しみの中で闘っている人たちにエールを送ることができるとの思いで懸命に闘いました。

彼女にはもう会うことはできません。しかし、彼女が残した『オモイ』は、今を生きる私たちが受け継いでいこうと思えます。

*本田美奈子.さんは、平成17年1月急性骨髄性白血病と診断され、同年11月逝去。38歳の若さでした。
 平成18年に公共広告機構の骨髄バンク支援キャンペーンCMに本田さんの歌う「アメージンググレース」と本人の映像が起用され、大きな反響がありました。

NPO法人リブ・フォー・ライフ美奈子基金では、下記の活動を行っております。

- ♥ 入院中に「小さな幸せ」への感謝の想いを綴った詩「ありがとう」を絵本にし、子供たちに生きることの素晴らしさを伝えています。
- ♥ 大好きだったデザインのバンダナを各地の病院に寄贈しています。

詳しくはこちら ▶▶▶ <http://live-for-life.jp/>

末梢血幹細胞移植のいま

2013年10月末現在、末梢血幹細胞移植(PBSCT)の移植例数は27例、認定施設は67施設になりました。今回は、2度の骨髄移植を受け、3度目に末梢血幹細胞移植を受けた患者さんと主治医の先生のお話を通して、末梢血幹細胞移植の「いま」をレポートします。



Yさんが入院中に折った千羽鶴。
Yさんのお母さんが大事に保管されていきました。



昨年、3度目の移植で末梢血幹細胞移植を受けたYさん。現在、自治医大附属病院に通院しながら、自宅で静養されています。これまでの闘病生活についてお話しを伺いました。

急性骨髄性白血病を発症したのは、7年前の12月でした。微熱が出て風邪のような症状が続いて、当時勤めていた会社も休んで。

近所の病院に行っても「喘息ではないか」と言われただけでした。でも、あまりに症状が改善されない。仕方なく大きな病院に行つて血液検査をしたところ、自治医大附属病院を紹介されて緊急入院することになりました。あらためて精密検査をしたら「急性骨髄性白血病」と診断されました。担当の医師が深刻な顔をしていて「すぐにご両親を呼んでください」と言ったのを覚えています。

急ぎよ、骨髄移植をすることになり、血縁者間ではHLAの型が合わなかったため、骨髄バンクに登録。幸い、ドナーさんはすぐ見つかり、翌年、骨髄移植をすることになりました。

骨髄移植について事前に主治医の先生から説明を受けました。自分のHLAの型に合うドナーさんがたくさんいると言われたのは救い

でしたが、移植にまつわる前処置や移植後のリスクを聞いたときは、ショックでしたし、話のとおり辛い治療でした。

ただ、先生から「なにか問題が起きても対処できる体制があるので、心配しないでほしい」と言われていたし、自分で覚悟を決めて臨んだことだったので。

移植後、ドナーさんの造血幹細胞が着し、退院。静養しながら徐々に体力が回復したため社会復帰。が、2年後に再発して2度目の骨髄移植を受け、さらに2年後の2012年に再発。

主治医の先生から「過去の2度の骨髄移植でGVHDがほとんど出なかったことが再発の原因ではないか」と説明を受けました。

「末梢血幹細胞は骨髄よりもGVHDを誘発しやしいので、これまでの方針を変えて末梢血幹細胞移植を行いたい」と。

3度目の移植をするとき、決断するまでかなり悩みました。

ただ、治療のおかげで寛解期(注：白血病細胞がほとんど見つからなくなった状態)に入つて、まだ治る可能性はあるのではないかと。3度目の移植のチャンスをもたらせる人がとても少ないと聞いていましたから。

ある本に「0%でなければ、可能性はある」

と書いていたのを思い出したんです。自分は3回目の移植を受ける権利を与えられた。このチャンスを使わない限り0%のままじゃないかと。最後にもう1回だけチャンスに臨もう。耐えられるかどうか分からないけど、やれるだけのことをやろう、と。

それと、これまで提供していただいた2人のドナーさんにこのままでは申し訳ないと思つたので。ドナーさんの命のかけらをいただいたのに、再発してしまいましたから。

昨年、Yさんは末梢血幹細胞移植を認定施設で受けた結果、期待どおり慢性GVHDの症状が現れ、現在は自宅で静養しながら、週に1度の通院で治療を続けているそうです。

少しずつ症状が良くなっている実感があるので、回復したいと思つています。時期、気持ち荒れて投げやりになった時もありましたが、今は自宅で英語の勉強をしています。

同じ病気の患者さんとも思います。病気のことを考え始めると、どうしても辛くなります。好きなことをして、気分を変えたほうがいいと思います。提供していただいた3人のドナーさんには命のかけらと、生きる希望をいただきました。ドナーさんには、これからもいい人生を歩んでほしいと願っています。

移植を受ける患者さんの闘病生活

入院

造血幹細胞移植のために入院



治療により脱毛してしまうため、多くの患者さんは髪を短くして入院します。

前処置

放射線の照射



全身に放射線を照射します。男女とも不妊になる確率が高いため、事前に精子・卵子を冷凍保存する患者さんもいます。

大量の抗がん剤の投与、そして無菌室に



患者さんは前処置により感染しやすくなるため、移植の1~2週間前から無菌室に入ります。

移植

造血幹細胞を点滴で移植



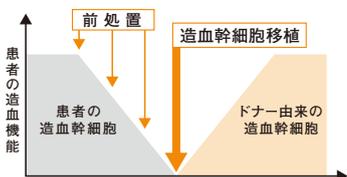
患者さんの元に運ばれた造血幹細胞は輸血と同じように点滴で静脈から注入されます。

ドナーから採取

ドナーの造血幹細胞を採取



別の病院に入院しているドナーさんから造血幹細胞を採取して、すぐに患者さんの病院まで運びます。



前処置により患者自身の造血幹細胞を壊して、ドナーの造血幹細胞と入れ替える準備をします。ドナー由来の造血幹細胞が働き始めると正常な血液が造られるようになります。

「白血病」や「悪性リンパ腫」などの血液疾患にかかると血液の細胞が正常に造られなくなるため、貧血や免疫不全といった症状が起こります。薬物療法や放射線療法で治療が可能になる場合もありますが、骨髄・末梢血幹細胞移植でしか治療を望めない患者さんも多くいます。

移植は患者さんにとって、身体的にも精神的にも大きな苦痛を伴います。移植前の前処置だけではなく、移植後には拒絶反応や、GVHD等との闘いがあり、退院までの道のりは単純ではなく、ひと言では言い表せません。患者さんはその苦難の道について十分に納得した上で、命をかけて移植に臨んでいるのです。

患者さんは移植が決まると1~2週間かけて大量の抗がん剤投与と全身への放射線治療を行い、病気にかけた血液細胞を破壊します。

これを移植前処置と言います。これにより、正常な細胞も破壊されるため、抵抗力を失い感染症にかかりやすくなります。この段階で健康なドナーさんから造血幹細胞が提供されないと患者さんは致命的な状態に陥ります。

ドナーさんから提供された造血幹細胞は、患者さんの静脈へ点滴で注入されます。

移植後、新しい造血幹細胞が根付き正常な血液を造りはじめると「生着」と言いますが、生着するまでに、拒絶反応や、重症感染症などによって早期に死亡するケースもあります。また、生着していったん回復した後にもとの病気が再発することもあります。

移植をしても患者さんの病気との闘いはまだまだ続くのです。

【用語解説】

GVHD
(移植片対宿主病)

移植したドナーの造血幹細胞の中の白血球が患者さんの体の組織を「他人=異物」とみなして攻撃してしまう反応

拒絶反応

移植後、患者さんの白血球が残っていて、移植されたドナーの造血幹細胞を排除すること

Doctor Interview

主治医インタビュー



自治医科大学
無菌治療部
森 政樹 先生

患者さんのYさんは、7年前に急性骨髄性白血病を発症されて、非血縁者の骨髄移植を行い、2年後に再発して再度、骨髄移植を行いました。そして昨年、2度目の再発が分かり、3度目の移植を検討することになりました。

Yさんの場合、2度の骨髄移植ではGVHDがほとんど出ませんでした。つまり、ドナーの細胞は生着しましたが、残っていた自分の悪い細胞に対する免疫を介した治療効果が出なかったと考えられました。

このため、3回目の移植についてはいかにGVHDを誘発して、移植したドナーの細胞の免疫力で悪い細胞を退治するかが課題になりました。そこで選択したのが、慢性GVHDが出やすいとされている末梢血幹細胞移植だったのです。

通常、移植は複数回できない患者さんが多く、発症して病状が安定しないと移植はできません。再発の場合、抗がん剤などで化学療法を行っても病状が安定しないことが多いのです。

Yさんの場合、移植ができる状態まで安定したため、ご本人も次の移植に臨もうというモチベーションを持つことができました。再発の治療というのは、患者さんにとって非常に辛いものです。その上、1度経験した移植治療の苦痛をもう一度行う気持ちがあるかどうか。移植するかどうかの最後の選択は、患者さんが行うのです。

幸い、YさんはPBSCCTの後、期待どおり慢性GVHDの症状が出ていないため、現在でも「がんばらう」といつ気持ちを持ち続けています。患者さんにとって移植は大いなる希望であり、ドナーさんには患者さんに願いを叶えるチャンスを与えてほしい、と思っています。

つらくても春は必ずやって来る

～4歳で白血病と闘い抜いた少女の物語～

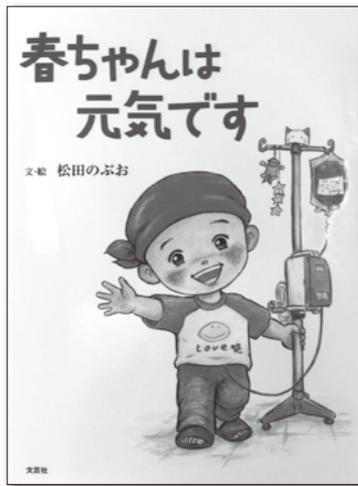


(左) 松田のぶおさん(右) 妻・美佐枝さん

4歳の時に急性リンパ性白血病を発症。

2度の骨髄移植で病気と闘い抜いた娘・松田春子さん(仮名)の闘病記を、お父様の松田のぶおさんが絵本にして出版しました。

絵本 「春ちゃんは元気です」



今年9月に出版された「春ちゃんは元気です」(文芸社刊・1300円)。4歳の春ちゃんが家族に支えられ、辛い治療と闘う姿が優しい色調の色鉛筆と水彩で描かれています。



著者・松田のぶおさんのサイン入り絵本を抽選で3名の方にプレゼントします。詳しい応募方法は、巻末のプレゼントコーナーをご覧ください。

松田のぶおさんの長女の春子さん(仮名)の体に異変が起こったのは、9年前、当時4歳の時。全身に覚えのない痣ができていました。大学病院で血液検査を行ったあと、医師から母親の美佐枝さんに告げられた病名は、「急性リンパ性白血病」でした。しかも、その中の5%の患者さんのみに発症する「フィладельフィア染色体異常」という珍しいケースで、再発率が高く治療が難しい病気でした。「それを聞いて頭が真っ白になって、現実として認識できませんでした」松田美佐枝さん。春子さんはすぐに大学病院に入院、医師が選択

だったそうです。苦しい前処置の後、移植した骨髄はすぐに生着、医師に「これほど順調に回復した患者さんはこれまでにない」と言わせるほど、春子さんは元気に自宅に戻ることができました。この経験を元に、のぶおさんが「同じ病気でも苦しむ子供と家族に希望を届けたい」と絵本の制作に取り掛かった矢先、春子さんの病気が再発。退院してから半年がたっていました。「また、あの暗い闇の世界に行かなければいけないのかと思うと、言葉も出なかった」松田美佐枝さん。辛い気持ちを押さえて、春子さんに再

「この子は絶対に助かる。私はそう信じています」と力強い声をかけてくれたそうです。再発後、骨髄移植のドナーを探す過程で、2度目は父親ののぶおさんの骨髄が最適という結論になり、のぶおさんが骨髄採取の手術を受けることになりました。骨髄採取の手術後、ベッドに横たわり眠っている父親の姿を見て、春子さんはただ泣いていたそうです。父親の骨髄をもらった春子さんは、無事に退院。あれからすくすくと成長し、13歳になった今では、ミュージカルの舞台上に立っているほど元気になりました。

した治療方法は骨髄移植でした。両親のHLAの型を調べたところ、父親ののぶおさんが適合しましたが、B型肝炎の既往歴があったため提供は断念。すぐに骨髄バンクに登録してドナーを探すことになりました。幸い適合ドナーが見つかり、骨髄移植を行うことになりました。病名を告げられてから、7カ月がたっていました。まだ4歳の幼い春子さんは、移植前の前処置の辛さに耐えられず、無菌室でガラス越しに両親と面会した夜は、ひとり泣きながら「お母さん、お父さん」と何度も呼ぶ……その繰り返し

入院することを告げると、辛かった入院生活を思い出したのか、ただ泣きじゃくるばかり……。両親が途方に暮れていると、突然、春子さんがすくと立ち上がり、「入院した時のお友達に会うの」と言いながら、自分で入院のための荷造りを始めたそうです。「きっと、幼いなりに考えて気持ちを切り替えたのだと思います」(松田のぶおさん)。そして、再び治療のために春子さんは入院しました。処置室に行くときと告げられるたびに、その辛さを思い出して泣いてむずかる春子さん。困り果てる両親を見て、担当の看護師さんが、

その後、のぶおさんは再び絵本の制作に取り掛かり、今年の9月に絵本「春ちゃんは元気です」を出版しました。同じような病気の子供やご家族の方のために描いたという、のぶおさん。「病気で闘う子供たちに言いたい。ひとりではない、家族だけではなくみんなが応援しているよ」と、決して希望を捨てないでほしい」(松田のぶおさん)。この絵本を通して、全国の病気の子供たちとご家族は、今日も力強いメッセージを受け取っています。



なんでも骨髄バンク

Q&A



「提供するとき、痛みはあるの?」「提供には仕事をどのくらい休めばいい?」など、ドナーさんから骨髄バンクにいただいたお問い合わせに、まとめてお答えします!

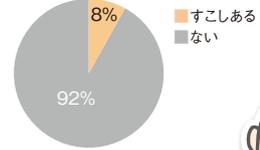
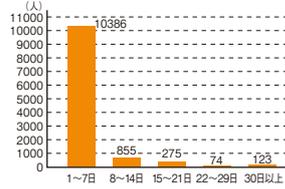
私たちが
お答えします

提供のとき、
痛みはありますか?

A. 多少の痛みは伴います。

骨髄採取は、麻酔から覚めた後、採取箇所が痛むことがあります。程度には個人差があり、1~7日間痛みが残ったという例が多いです。末梢血幹細胞採取は、G-CSF(顆粒球コロニー刺激因子)という薬を注射した後、骨の中で白血球が増えてくるので、腰などの骨に痛みを感じる人が多いです。採取時は、腕に針を刺すので、その部分が痛む場合もあります。

日常生活復帰に要した日数(平成24年12月末)
(採取日を0として何日後に復帰したか)



提供後3ヵ月アンケートより
(対象:平成5年1月~平成24年12月末)



提供するとき、
何日仕事を休めばいい?

A. 採取方法によって異なります。

＜患者さんと適合した通知が届いてから提供までのコーディネートと所用日数＞



適合通知が届いたあと、確認検査を受けてから採取までは約2~4ヵ月かかります。適合通知が届いてから提供まで、医療機関にお越しいただく回数は8回程度(平日、日中の時間帯)で、入院期間は骨髄提供と末梢血幹細胞提供で異なりますが、最短で1泊2日、最長で6泊7日程度になります。

HLAの型が
知りたいのですが。

**A. お教えることは
できません。**

HLA型が公開されると臓器売買等に利用されるなど、骨髄バンクを含め公平な臓器提供のしくみそのものが危くなる可能性があるなど、様々な懸念事項があるため、第三者はもちろんドナー登録者ご本人にも伝えないこととしています。

適合通知が来た!
こんなとき、どうする?

A. 提供されたドナーさんの体験談です。

1「仕事が忙しくて休めない!」

「仕事が忙しい時期でも早退や休みを取る必要があったが、同僚が応援してくれて仕事を引き受けてくれました」

(提供ドナー:宮城県・Hさん・女性)

「仕事がシフト制だったので、同僚に協力してもらって平日の昼間に時間を空けられるようにしました」(提供ドナー:愛知県・Oさん・女性)

2「会社の理解がなくて
休みづらい!」

「コーディネーターから説明された内容を上司に必死で説明したら理解してくれて、やっと有給休暇を10日間もらえました」

(提供ドナー:静岡県・Yさん・男性)

3「子どもが小さいから
家を空けられない!」

「義母が応援してくれて、子供たちと夫と愛犬の面倒までみてくれました」

(提供ドナー:東京都・Aさん・女性)

4「介護をしているので
家を空けられない!」

「家族、親せきに協力してもらって、ヘルパーさんに来てもらったり、人海戦術で乗り切りました」

(提供ドナー:北海道・Kさん・女性)

提供に
費用はかかるの?

A. 費用は一切かかりません。

コーディネートに係る費用は一切かかりません。交通費も実費でお支払します。ちなみに、提供の際の入院費(術前健診費・自己血採血・採取費用・術後健診費)は患者さんの健康保険で支払われます。ドナーさんが入院されるときに「差額室料」が生じたときは、患者さんの負担となります。

病院は自分で
決められる?

A. ドナーさんの希望を考慮して、調整します。

病院は、可能な限りドナーさんの希望を伺って調整しますが、希望に添えない場合もあります。日程は施設の状況を確認し、相談させていただきながら調整を進めますので、日本骨髄バンクが勝手に決めてしまうことはありません。骨髄・末梢血幹細胞の採取はドナーの安全を第一に、日本骨髄バンクが認定した経験豊富な病院で行われます。

何回でも提供
できるのですか?

骨髄バンクでは、骨髄と末梢血幹細胞を合わせて2回まで提供可能としています(末梢血幹細胞は1回まで)。2回提供したことがある方は、今後の提供回数の方針が変更されるまで登録は保留となります。

適合通知が
来ませんが…

1992年から2013年9月末までのドナー登録者累計数は59万1,719人で、そのうち、患者さんとHLAが適合したドナー累計数は21万2,174人で、全体の35.8%になります。

日本骨髄バンクに名称変更
したのは、なぜですか?

平成24年9月に「移植に用いる造血幹細胞の適切な提供の推進に関する法律」が成立、公布されたことにより、当法人は「骨髄・末梢血幹細胞提供あっせん事業者」として位置付けられることになったため、事業の実態に合わせた名称に変更しました。

日本骨髄バンクの現状

2013年9月末現在

非血縁者間骨髄移植及び末梢血幹細胞移植の状況

【コーディネイト状況】

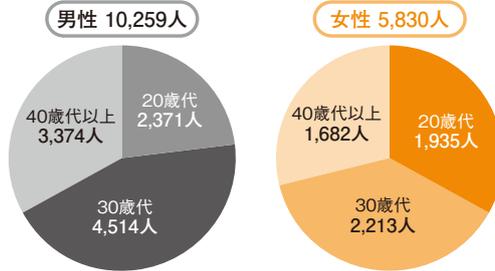
(1992年から2013年9月末までの累計数)



*海外ドナー179件を除いた国内の件数。

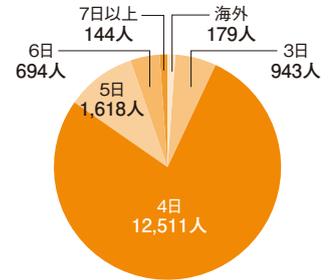
【提供者の状況】

年齢・男女



※海外の20歳未満のドナーが5人含まれています。

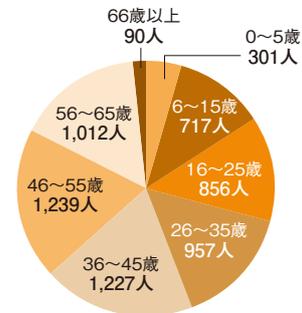
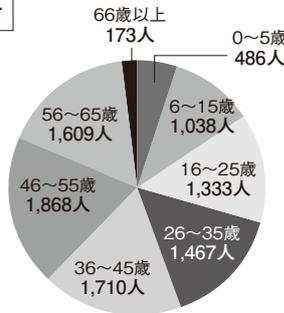
入院日数



※採取されたものの移植に至らなかった6件を含みます。 16,089件

【移植患者の状況】

年齢・男女



16,083件

トピックス

Topics

骨髄バンク推進全国大会が行われました

11月9日(土)、千葉市・京葉銀行文化プラザ音楽ホールにおいて、「骨髄バンク推進全国大会 in 千葉」が開催され、約420名の方々が来場されました。「あなたにしか救えない、命のために」をテーマに、第二部ではドナーコーディネートをロールプレイング形式でわかりやすく解説。会場が一体となってドナーコーディネートを疑似体験しながら骨髄バンクについて学び、考える場となりました。第三部では、ゲストに元患者の浅野史郎さんを迎え、お話を伺うとともに、骨髄バンク普及大使の佐々原聖子さんによるミニコンサートが行われ、盛況のうちに幕を閉じました。開催にあたりご支援・ご協力いただいた関係者の皆さまに心より御礼申し上げます。

なお、来年の全国大会は、9月13日(土)に会場は「福島テルサ」(福島市上町4番25号)にて開催する予定です。

10月は骨髄バンク推進月間

骨髄バンク推進月間の10月は、今年も全国でドナー登録会やイベントが開催されたほか、政府広報オンラインなどでも骨髄バンクが紹介されました。ドナー登録をしていただいた方々をはじめ、ご協力いただいた関係者の皆さまに深く感謝申し上げます。

全国19の都市でドナー助成制度を導入

骨髄または末梢血幹細胞を提供されたドナーさんのための助成制度が、全国で次々と導入されています。今年10月1日より、埼玉県滑川町でドナー助成制度が導入され、これにより全国19の自治体で導入されることとなりました。埼玉県滑川町では、提供したドナーに1回につき10万円、ドナーが勤務する国内の事業所にひとりにつき5万円を給付します。今後も、多くの自治体に拡大されることを期待します。

2013/14Vリーグ、11月30日に開幕

11月30日(土)の女子プレミアリーグを皮切りに、「2013/14Vリーグ」が開幕しました。Vリーグ機構では社会貢献活動の一環として、2006年から骨髄バンクのドナー登録活動をご支援いただいています。今年も全国各地の試合会場、来場者の方へのチラシ配布や、オーロラビジョンでの骨髄バンク普及啓発映像の放映、会場での募金活動を予定しています。4月に行われるファイナルラウンドでは骨髄バンクチャリティーイベントを予定しています。

登録内容変更はいずれかの方法で行うことができます。

ドナー登録者の方へ 登録内容変更の手続きを お願いいたします！

① 各ウェブサイトから



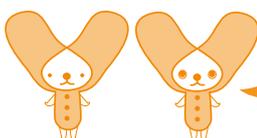
- ◆PC向けサイト
<http://www.bmdc.jrc.or.jp>
- ◆スマートフォン向けサイト
<http://trk.bmdc.jrc.or.jp/s/>
- ◆携帯向けサイト
<http://trk.bmdc.jrc.or.jp/k/>



QRコード

- 1) 上記サイト「登録内容の変更」からページを開き、同封のはがきに記載されている「アクセスコード」と生年月日、メールアドレスを入力、「認証」ボタンを押します。
- 2) 承認後、入力したメールアドレスに登録内容変更の専用ページURLとワンタイムパスワード(1回限り有効)が記載されたメールが届きます。
※メールアドレスによっては、メールが届かない場合があります。その際は、別のメールアドレスでお試ください。
- 3) 専用ページを開き、ワンタイムパスワードと生年月日を入力し、ログイン後、変更する項目を入力・確認し修正依頼します。
※後日、変更確認書をお送りしますので、ご確認ください。

スマートフォン向けサイトが
オープンしました！



骨髄バンクのフリーダイヤルでは、
登録内容の変更手続きは
受け付けておりません。

② はがきから 必要事項を記入し、ご郵送ください。

変更する項目に、 チェックを入れて、変更内容をご記入ください。

登録内容の変更届 01234567899	
<input type="checkbox"/> 氏名	登録時氏名 菅藤 太郎 様 変更後氏名 <small>※HFP</small>
<input type="checkbox"/> 住所	〒 - - マンション・アパート名 号室
<input type="checkbox"/> 電話番号 メールアドレス	電話番号 - - 携帯番号 - - メールアドレス
<input type="checkbox"/> 登録内容	<input type="checkbox"/> 登録取消 <input type="checkbox"/> 保留解除 <input type="checkbox"/> 保留開始 <input type="checkbox"/> 保留期間 平成()年()月()日まで

01234567899 ← アクセスコード

ウェブサイトからの変更には
このアクセスコードが必要です。 保留のときはその期間も
必ず書いてください。

- *保留について
なんらかの理由(治療中、海外勤務、出産等)で、しばらく提供を希望しないときは、登録を保留にできます。保留期間を明記してください。
保留期間中に保留の解除を希望するときは保留解除にチェックを入れてください。
- *登録取消しについて
提供ができる見込みがないときは、登録の取り消しをお願いします。

お引越等々をされた場合に、住所等の変更手続きをさせていただかないと、適合する患者さんが見つかってもご本人に連絡が取れず、コーディネーターが終了となってしまう。

Coordinator
Interview

コーディネーター お仕事紹介&インタビュー



高嶋 めぐみさん
(栃木県在住)

以前病院で臨床検査技師として働いていましたが、結婚を機に退職。子供が大きくなり育児にも余裕を持てるようになった時、新聞の「コーディネーター募集」の記事を見て応募しました。早いもので、コーディネーターを始めて3年目になりました。

コーディネーターは候補になったドナーさんのサポートに努めながら、提供にむけてのコーディネーターを進めるのが仕事です。具体的には、ドナーさんとそのご家族に提供に関する説明と意思確認、ドナーさん・医師・関係機関との連絡調整、提供後の健康面等のフォローアップを行っています。

現在、同時に約20人のドナーさんを担当しており、月に10〜15回面談施設や採取施設に向かっています。栃木県内で活動することがほとんどですが、ドナーさんの居住地区によっては、近隣の県に行くこともあります。

また、基本的には、個人で活動しています。年に3〜4回研修会に参加し、他のコーディネーターとの交流があり自分1人ではないんだと実感できます。

ドナーさんは、本当に良い人ばかりで、世の中に素敵な人がこんなにいるんだと実感しています。提供後も、ご自身の体調より、患者さんの移植がうまくいったかを気にされる方も少なくありません。ドナーさんをサポートする立場ですが、自分も力がもらえ、やりがいを感じています。

日本骨髄バンクではコーディネーター養成研修会受講者を募集しています。
詳細は8ページをご覧ください。

コーディネーター養成研修会受講者募集のお知らせ

当法人は、骨髄または末梢血幹細胞移植を必要とする患者さんと骨髄または末梢血幹細胞提供希望者(ドナー)との連絡調整(コーディネート)を適切に行い、迅速な患者救命を図ることを使命としています。

コーディネーターは、ドナーと医師や関係者との連絡調整、ドナーやご家族に対しての骨髄または末梢血幹細胞移植に関する説明や意思確認、ドナーの健康状態の把握など大変やりがいのある業務を担います。

コーディネーター養成研修会ではコミュニケーションスキルと、コーディネートに必要な知識を身につけていただき、受講後、コーディネーターとしての認定を受け、当法人からの委嘱に基づき活動していただくことになります。下記のとおりコーディネーター養成研修会を実施しますので、意欲ある受講者を募集します。

<委嘱後の業務内容と待遇について>

◆コーディネーターの業務内容

- ・ドナーおよび関係者間の連絡調整
- ・ドナーおよびご家族に対する骨髄・末梢血幹細胞提供についての説明や意思・同意確認
- ・ドナー検査時の同行、入退院時の訪問
- ・骨髄・末梢血幹細胞提供後のドナーに対する健康面等のフォローアップ など

◆コーディネーターの待遇

- ・(公財)日本骨髄バンクからの委嘱
- ・報酬は活動件数に応じて支給
金額:面談(調整等を含む)1件当り約8千円。活動件数に応じて月額数万円程度。

●募集地域 (主に下記の地域で活動可能な方)

北海道:札幌、旭川、函館 関東:茨城、長野、群馬、東京、神奈川、埼玉、千葉 近畿:滋賀、京都、大阪、兵庫、和歌山 中四国:鳥根、広島、愛媛

●募集人数 各地域とも若干名

●応募資格 ・原則25歳以上の健康な方 ・骨髄バンク事業を理解し、熱意を持ってコーディネート業務に時間と労力を割くことができる方 ・ただし骨髄または末梢血幹細胞移植のため登録中の患者さんやその家族、特定の患者の支援活動をしている方は除く

●研修期間 平成26年1月上旬～平成26年4月上旬(予定)

●研修内容 平成26年1月11日(土)、12日(日)に東京で開講式、集合研修各地区事務局での集合研修(4、5回)、近隣の指定病院での実地研修(10回以上)など。中間試験、修了試験あり。

●受講料(教材費を含む) 無料

*交通費:実地研修および地区事務局研修は当法人負担
東京での開講式(宿泊含む)は受講生負担(補助あり)

●応募方法 履歴書(写真貼付)、職務経歴書、受講動機(400字原稿用紙1枚)を添えて下記までお送りください。なお、応募書類は返却しません。(応募に関する個人情報は、選考手続きおよび今後の研修のためにのみ使用し、その他の目的で使用することはありません)

●応募締め切り 平成25年12月18日(水) 必着

●応募先(問い合わせ先)

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-19 廣瀬第2ビル7階
(公財)日本骨髄バンク「コーディネーター養成研修会」係
TEL 03-5280-2200

募金のお願い

骨髄バンクの運営は、国庫補助金などの公的資金のほか、患者さんの負担金や皆さまからのご寄付によって成り立っています。当法人は公益財団法人に認定されているため、ご寄付をいただくと税制上の優遇措置が受けられます。

皆さまの善意をお寄せください



1. 郵便振替

郵便払込用紙で、最寄りの郵便局からお振込みをお願いします。
手数料は当法人負担となります。



2. 銀行振込

① ☎0120-377-465 平日 9:00～17:30 までお電話ください。
みずほ銀行間での手数料が無料になる専用振込用紙をお送りします。
※みずほ銀行本店の名称が「東京営業部」に変更になりました。

② 楽天銀行

http://www.jmdp.or.jp/help_us/howto/bank.html

24時間入出金が可能な楽天銀行をご利用いただけます(手数料無料)。
なお、事前に口座の開設が必要です。



3. お電話で募金(クレジットカード)

ご使用になるカードをお手元にご用意のうえ、

☎0120-377-465 平日 9:00～17:30まで

お名前・ご住所・電話番号・カード番号・カードの有効期限・ご寄付の金額をお知らせください。



4. インターネットから募金(クレジットカード、ポイント募金など)

http://www.jmdp.or.jp/help_us/ または



5. 自動口座引き落としによるご寄付

詳細は資料をご送付します。

☎0120-377-465 平日 9:00～17:30 までお電話ください。



骨髄バンク提携クレジットカードのご案内

クレジットカードによるお支払額の一部が骨髄バンクに寄付される骨髄バンクサポーターカード。寄付金なしの一般会員と、毎年3,000円を寄付するサポーター会員、毎年1万円寄付する特別会員があります。骨髄バンクカードには、この3種類のNICOSカードのほか、各VISA付きカードがあります。

入会申込書を ☎0120-377-465 平日9:00～17:30 までご請求ください。

□個人寄付者の方へ ※新しく税額控除制度が適用されます。

これまでの「所得控除制度」に加え、税率に関係なく税額から寄付金の一定額を直接控除できる「税額控除制度」が新たに適用されます。寄付者は2つの寄付控除制度のうち、より有利な方法を選択することができるようになります。

① 所得控除を選択する場合(寄付金合計(※1)-2000円)×所得税率(※2)=控除額

② 税額控除を選択する場合(寄付金合計(※1)-2000円)×40%=控除額(※3)

※1 所得額の40%が上限 ※2 課税所得により5%～40% ※3 所得税額の25%が上限

クイズに答えて 賞品をGET!!



Present

○の中に入る文字を当ててください。

Q.特集のタイトルは

『末梢血幹細胞○○のいま』

応募締切 2014年1月10日(金)

A賞

LIVE FOR LIFE
バンダナ(四つ葉クローバー)
…3名様



B賞

著者・松田のぶお直筆サイン入り
絵本『春ちゃんは元気です』
…3名様

応募方法

【PC・スマートフォン】

<http://www.donorsnet.jp/news43/>に
アクセスし、応募フォームに必要事項を記入の上、お申込みください。

【携帯】

送り先のメールアドレスに present@jmdp.or.jp を入力し、
件名を「プレゼント応募」として必要事項(①クイズの答え、②郵便番号、③住所、
④電話番号、⑤名前、⑥年齢、⑦何賞を希望するか、⑧ご意見・ご感想)を明記の上、
送信ください。

※当選者の発表は、賞品の発送をもってかえさせていただきます。